

平成 29 年 12 月 25 日

各位

共催 名古屋テキスタイル研究会

名古屋市工業研究所

平成 29 年度 第 3 回研究会(講演会)開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当研究会に対し何かとご支援賜り、厚く御礼申し上げます。平成 29 年度第 3 回講演会を下記の通り開催いたします。

ご多忙とは存じますが、ぜひご出席下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 平成 30 年 2 月 22 日 (木) 13:30~16:40

場 所 名古屋市工業研究所 管理棟 3 階 第 1 会議室

名古屋市熱田区六番 3-4-41

(名古屋市営地下鉄 名港線 『六番町』下車、3 番出口より徒歩 2 分)

1. 講演 「撥水剤の現状と動向について」

13:30~15:00

【講師】明成化学工業株式会社 撥剤開発部 1G グループマネージャー 長山 喜紀 氏

【要旨】撥水剤は、フッ素を含むものと、フッ素を含まないものに大別される。いずれも加工した基材に対して水を弾く性質を付与でき、フッ素系撥水剤は、撥水性能だけでなく油を弾く撥油性も付与できる。このような付加価値の高さから、フッ素系撥水剤は、衣料やインテリア、産業材など様々な用途で長年に渡って使用されている。最近では、環境対応の動きからフッ素フリー撥水剤のニーズが高まっており、衣料分野はフッ素系撥水剤からフッ素フリー撥水剤へと移行する動きが活発になっているが、現状ではいくつかの技術的な課題を抱えている。今回は薬剤メーカーの視点から、撥水剤の現状と動向について紹介する。

2. 講演 「家庭用の漂白剤について」

15:10~16:40

【講師】花王株式会社 ハウスホールド研究所 上席主任研究員 野村 昌史 氏

【要旨】JIS L 0001 では漂白処理に関する記号として酸素系漂白処理の取扱い表示が加わった。酸素系漂白剤は色柄物の繊維製品にも安心して使用できるという利便性を有するが、化学反応を利用しているために注意すべきことがいくつかある。本講演では、漂白剤の基礎的な働きや取扱い上のポイントについて、実際のクレーム事例を混じえながら説明する。また、ATTS 新 JIS 取扱い表示研究分科会での取り組みについても紹介する。

問合せ先： アドバンスト コンサルティング パートナーズ

伊藤高廣 080-5291-8510

名古屋市工業研究所 有機材料研究室

大岡千洋 052-654-9885

*会員以外の方は、資料代として 2,000 円が必要となります。

*学生の方は無料、下記申込書の会社名・所属を学校名・学科名に変えて申込みください。

*参加ご希望の方は準備の都合上、必ず事前にお申込み下さい。下記を記入していただき、名古屋テキスタイル研究会 (052) 661-0158 へ FAX、または記入したワードファイルを添付して、ooka.chihiro@nmiri.city.nagoya.jp までメールください。

申込み先： 名古屋テキスタイル研究会 FAX (052) 661-0158

「第 3 回研究会(講演会)」参加申込書

(申込締切 2 月 15 日)

非会員用

参加者名	
会社名・所属	会社名 所属
TEL / FAX	/
E-mail	
メールマガジン (NMIRI 技術ニュース) の配信を【 希望する ・ 希望しない 】	
※当所の事業やイベント情報等を月 1 回配信しています。	

※ ご記入頂きました個人情報、受講者への連絡・講師への情報提供などの講演会目的、(希望者への)メルマガ配信以外には使用いたしません。